

# ウインタースポーツツーリズム

札幌大学 東原ゼミ C チーム

○遠藤剛瑠          山田秀之          工藤直輝  
秋山愛莉          清崎鉄馬

## 1. 背景

北海道の観光客数は平成18年までは増加していたが平成19年からは年々減少している。北海道の観光客減少を止めるために、北海道に来る観光客に北海道の代表といえるウインタースポーツを実際に「する」体験をしてもらい観光客を増やす政策を考える。

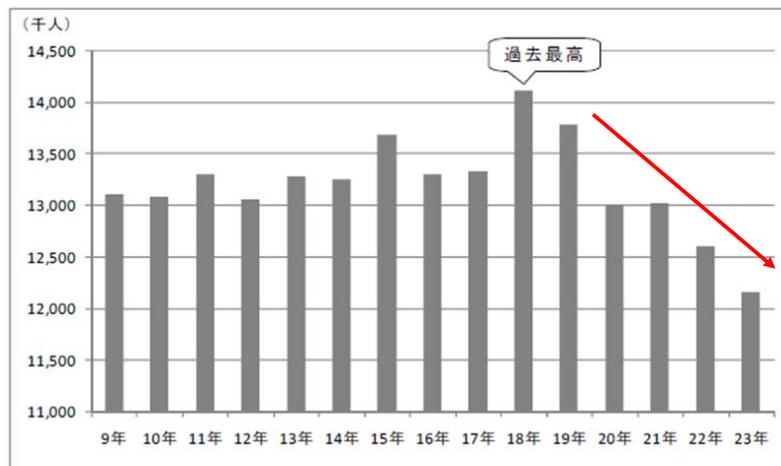


図1 年度別頼札観光客数推移 (平成9～23年)

札幌市スポーツ産業発展可能性調査より

## 2. スポーツツーリズムの利用

### 「スポーツツーリズム」とは

プロスポーツなどの観戦や、スキー、マラソン、ウォーキングなどのスポーツイベントへの参加を目的とし、開催地周辺の観光と組み合わせた旅行スタイルである。スポーツツーリズムには3つあり、見るスポーツ・するスポーツ・支えるスポーツがある。見るスポーツは、プロスポーツなどの観戦を目的としたもので、するスポーツは、実際にスキーやサイクリングなどを体験して楽しむもので、支えるスポーツは、スポーツイベントなどのボランティアなどを目的としたものである。その中でも私たちはするスポーツに着目していく。

スキーやサイクリング、スポーツイベントへの参加など、「する」スポーツのイベント企画開発により、新たな旅行行動を喚起し、宿泊数の増加、旅行消費額の拡大が期待できる。そこで私たちは、ウインタースポーツを使って観光客を増やす政策を考えてい

きたいと思う。札幌市周辺のスキー場なら、札幌駅からのバスで1時間以内に到着できるスキー場も複数あり交通アクセスがよく、北海道のスキー場は雪質がいいので、パウダースノーを楽しむことができる。

### 3. 北海道の現状

北海道の観光状況、ウインタースポーツの実施状況や人口減少の問題として次の2つがあげられる。

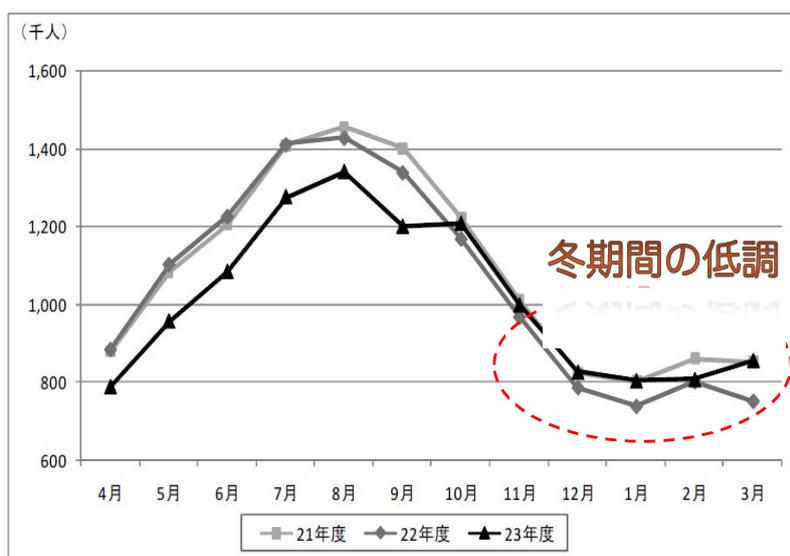


図2 月別入り込み数推移 札幌市スポーツ産業発展可能性調査より

(1) 月別で見た札幌市の観光客では冬の時期の観光客が夏の時期に比べるととても減少していることがわかる。このことから観光客が夏の時期に集中しているのでも冬の時期にウインタースポーツを体験するといったことが自然と減少してしまう。(図2)

(2) 図3の札幌旅行時に行った文化やスポーツに関する行動を見ると、スポーツに関する行動は31.3%あり67.9%の観光客が特に何も行ってないことからスポーツ実施者は拡大の可能性がある、スポーツに関する行動の中ではスキーやスノーボードが7.7%と1番高い割合であるのでウインタースポーツ人口も増加する可能性がある。

### 4 問題提起

子供のころからウインタースポーツを体験しなければ年齢が高くなるにつれて実施することがなくなるので、我々はウインタースポーツを通して家族層の観光客の増加を目的とする。家族層の観光客を増やすことで子供がウインタースポーツを続けていく可能性もあり、将来また家族で訪れる可能性がある。

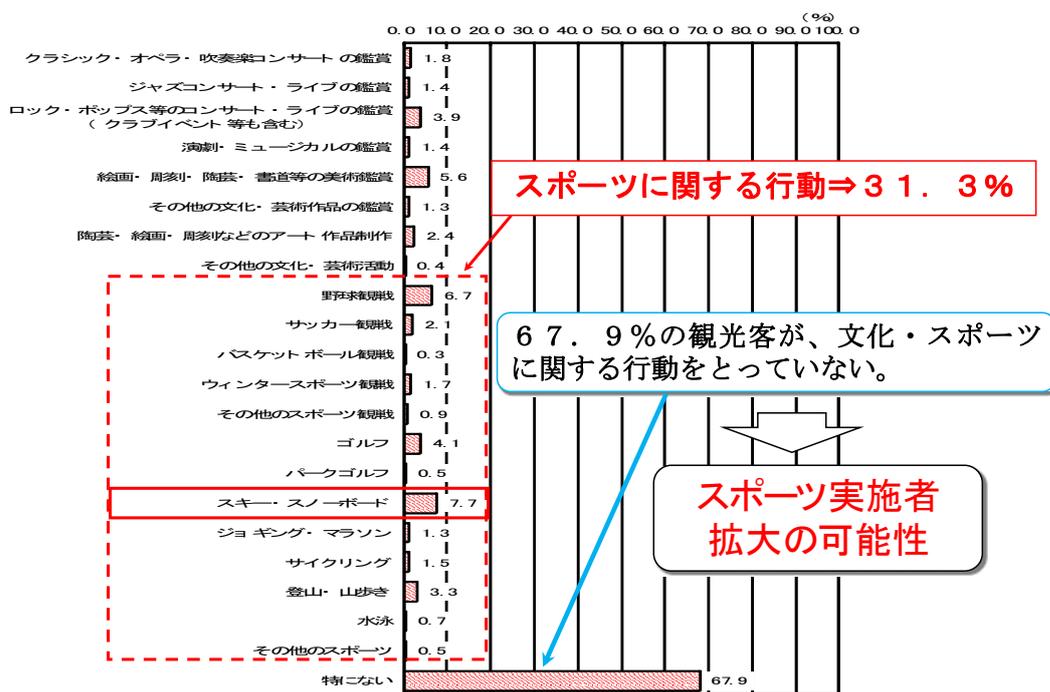


図3 札幌旅行時に行った文化・スポーツに関する行動

札幌市スポーツ産業発展可能性調査より

## 5 政策提言

子連れの家族を中心に観光客を呼ぶためにスキー場でのサービスやイベントや企画を実施する。

### 1) ファミリー専用コースの設置

「ファミリー専用コース」を設置しそり滑りやスノーシューもできるようにすることで、子供からお年寄りまでの家族連れで安全に楽しむことができる。

### 2) 3世帯ファミリーサービス

3世帯ファミリーでスキー場に来た場合全員の料金を半額にするサービスを実施する。親と子供で来ると親が子供を見ながら滑らなければいけないので満足に楽しめない場合がある。そこで、3世帯で来ることによって料金を半額にし(1)のファミリー専用コースや初心者向けのコースでおじいちゃん達が子供を見ている間に子供の親がコースを安心して滑ることができるので、3世帯で来る家族が増加するのではないかと考える。

### 3) 歩くスキー体験

札幌市ではたくさんの歩くスキーを体験できる場所がある。いくつかの場所ではスキーをレンタルしているところもあり、無料で貸し出しているところもある。歩くスキーはスキーの経

験がなく、運動が苦手な人でも普通に歩くことができれば誰にでもできるウインタースポーツであり、この歩くスキーで自然環境を生かし、スタンプラリーをしながら体験することで子供も興味を持って家族で楽しむことができるのではないかと考える。このスタンプラリーを集めることができた方には、札幌市のスキー場で使えるスキーやスノーボードのレンタル無料券をプレゼントすることで、歩くスキーを体験した人たちが、スキー場に足を運ぶ人が増えるのではないかと考える。図4の中島公園での歩くスキーでは道具を無料でレンタルすることができ、

ほとんど平坦な 1 周 1 Km の初心者向け。滑ろうと思えば 3 ヲ所ほど緩い斜面がある。藻岩山や超高層ビルが見えたり隠れたり、林の中などを通ったりする、変化に富んだコースを楽しむことができる。



図4 中島公園歩くスキーコース

## 6 まとめ

年々北海道に来る観光客が減少し、特に冬期間の観光客が減少しているなかで、観光に来てもスポーツに関する行動が少ない。家族層を中心にウインタースポーツを目的とした観光客を増加させることで子どもの頃に体験したスキーやスノーボードなどを大人になったときに家族連れで来たいと思わせることが必要だと考える。

## 参考文献

- ・スポーツツーリズム推進基本方針～ スポーツで旅を楽しむ国・ニッポン～  
<http://www.mlit.go.jp/common/000160526>
- ・『社会生活基本調査』 <http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/>
- ・札幌市指標達成度調査 <http://www.city.sapporo.jp/somu/hyoka/chosa/>
- ・札幌市スポーツ産業発展可能性調査

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/seizo/kankyuu/sapporohatunokannkyousanngyou.html>

- ・札幌市内の歩くスキーコース <http://www.interq.or.jp/ski/hasegasj/xts-sapp.htm>
- ・中島公園で歩くスキー <http://nakajimapark.info/event/arukusuki/>